

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第5回 鈴西小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年12月22日(金) 10:00~11:20

2 場 所 鈴西小学校 多目的ホール

3 委員長挨拶

- ・寒い中、集まっていたいただきありがとうございます。小学校の鏡池前で、つららがあるのを見て、寒さを実感した。
- ・先日の中学校区の拡大運営協議会は、管理職だけでなく、担任や専科の先生方が参加していて、直に話を聞くことができ、とても良かった。また、中学校区の人権フォーラムにも参加したが、児童や生徒が自分の意見をしっかりと発言している姿を見て、とても素晴らしいと感じた。子どものそうした姿を見てもらうことが、学校を地域に開いていく一番の方法ではないかと感じた。
- ・学校の樹木がとてもきれいになっていて、感動した(PTAによる環境整備、樹木剪定が先月行われたので)。保護者が減っている中で、このようにきれいにしてもらえるのは、とても素晴らしいことだ。保護者が減っていくとこうした活動を続けていくのが難しくなってくるのが課題である。
- ・アフターコロナで、子どもたちの活動をどう広げていくか、学校ではとても苦労されたことと思う。これからどう地域に開いていくかが課題。
- ・課題ばかり多くて大変だが、少しでも良くしていけるように、この学校運営協議会を開催していきたい。

4 学校長挨拶

- ・昨日は皆出席、今日は1名欠席(インフルエンザによる出席停止を除く)。
- ・11月は欠席児童が多かった。森のまつりを開催することはできたが、その後欠席者が増えた。学年閉鎖をするかどうかについては、欠席者数だけでなく、登校した児童の健康状態や欠席児童がいつから登校できるのか等も考慮し、学校医との相談の上、教育委員会が総合的に判断して決まる。結果、11月下旬に6年生が学年閉鎖になった。マラソン大会の前々日まで閉鎖となったため、マラソン大会の安全確保が難しいと判断し、大会を中止にし、校内記録会に変更せざるを得なかった。「マラソン大会がなくなって残念」という保護者の声もあったが、子どもの健康と安全のため、致し方ないことだった。
- ・本日の運営協議会は学校保健委員会も兼ねている。学校保健法で開催が位置付けられている。児童の健康について知っていただき、地域の方々に意見をいただく機会として開催しているので、ぜひご意見をいただきたい。
- ・鈴西の森の樹木剪定について、自治会長、委員長と学校長の連名で要望していたが、来年度、県の事業を利用して進めていく方向になった。これについて保護者に学校だよりで知らせたが、特に意見は出てきていない。実際に行うことになった段階でもう一度保護者全体に周知して進めていく。

【学校長より学校通信をもとに学校の様子を説明】

5 協議事項

(1) 子どもたちの発育・健康状況について（保健室から）

【添付資料をもとに養護教諭より説明】

《委員の皆様から》

- とてもよくまとめられた資料で、考察もしっかりしていて、感心した。
子どもたちは、視力のことや虫歯のこと等、あまり気にしていないので啓発が必要。とてもよい報告だったので、これをもとに児童や保護者に広げてほしい。
- ⇒ 普段発行している保健だよりは児童の目線で分かりやすいようにと心がけて作成している。視力や虫歯については、保護者向けのものも発行したい。
- 視力や虫歯のことを、親が子どもに言っても聞いてくれず、逆効果になってしまうことがある。反抗期にも入ってくるので。虫歯になったらどうなるか、目が悪くなったらどうなるのかを児童に訴えかけるような伝え方をしてもらえるとありがたい。
- 親が歯磨きをしている姿を見せる等、親が手本になる必要がある。子どもは言うだけでは動かない。正しい姿勢を保つことについても、親が前かがみにならず正しい姿勢でスマートフォンを見ている等、実際にやっている姿を見せるのが大事。
- 今の時代、スマートフォンを児童も使うのは仕方がない。使う前提でどうするかを考えていく必要がある。
- 親が手本になるという点では、あいさつも同じ。あいさつ運動で朝の登校時間帯に立っている。親とも顔を合わせるが、「子どもの表情を見て、親からあいさつをする」ことを声かけしている。親からあいさつする家の子どもは、あいさつがよくできていると感じる。親の姿が大事。
- 家庭、地域みんなで子どもたちを育てていくことが大事。子どもだけのせいでもないし、親のせいでも、学校のせいでもない。みんなで力を合わせて子どもたちの育成をしていきたい。
- 資料の3ページの虫歯保有率について、6年生がとても低い。
⇒ 「6年生」という学年になるから減るのではない。
- 何か、子どもたちが気づいたことがあったのか。学校の先生の指導が、学年が上がったことで心に響いたのか。
⇒ もし指導したことが心に残って虫歯が減ったのなら、それはとても嬉しい。
⇒ 親子だからこそ素直に聞けないこともあるので、保健指導や保健だより等、学校から啓発することで、協力していきたい。
- 給食後の歯磨きは、しているか。
⇒ 今はしていない。水道の蛇口の数や、手洗い場の混雑等の都合で、一斉にはしていない。食後に歯磨きをしたい児童は、している。
- 「虫歯保有率」は、虫歯を治療したら、数に入らなくなるのか。
⇒ 治療したら数に入らない。未処置の数を計上している。
⇒ 6年生の保有率が低いのは、成長して乳歯が抜けたことで減ったのかもしれない。過去2年の経年比較をしているが、もう少し前のデータも見比べると、分かることがあるかもしれない。
- 朝食の喫食率について、鈴西小はどうなっているか。
⇒ 喫食率は高い。保健室に来室した体調不良の児童に、朝食を食べたか、どのようなものを食べたか聞いているが、食事内容もしっかりしている。

(2) 今後の行事のもち方について

令和6年度の行事の日程や方向について連絡した。

- ・運動会は10月5日(土)。熱中症対策の観点から、10月中旬から下旬の開催も考えたが、他の行事との兼ね合いもあり、この日に設定した。熱中症対策をしっかりとて、安全に実施できるようにしていく。
- ・森のまつりは平日開催で考えている。
- ・マラソン大会は、来年度からは校外を走るのをやめて、校内記録会とする。

6 情報交換・その他(添付資料をもとに説明)

- ・学校評価アンケート(2学期)集計結果について
【教頭よりアンケート結果の説明】
- ・学校関係者評価の依頼について
【教頭より説明と依頼】
- ・CSアンケートのお願い
【教頭より委員の皆様へ依頼】

《委員の皆様から》

- 児童アンケートの中の「困ったことがあれば家の人に相談する」「困ったことがあれば学校の先生に相談できる」が、学年が上にいくほど「できない」割合が高くなる傾向が見られる。困ったことが「言えない」子が、一番つらい思いをしている。
⇒ 学校としても、常に児童の様子を観察し、言葉にできていない内面に気づくことができるよう心がけている。

7 教育委員会から

- ・子どもの健康状況について養護教諭からの報告があったが、健康状況は学校生活に大きく関係している。委員の皆様から、子どもたちへの働きかけについての意見が多く出された。自分も子をもつ親だが、何か言うと反発してくる。しかし、反発するのは、親の言ったことを聞いているからだとも考えられる。無視される方が心配だ。
- ・委員長から「親、地域、学校のそれぞれの立場から子どもに働きかけ、地域全体で子どもを育てる」という話があった。このような話を今日の運営協議会でできたことが、とても良かった。
- ・学校関係者評価は学校の改善につながるものなので、ぜひいろいろな意見を頂きたい。これまでの運営協議会の際に授業参観もしていただいていると思うので、その時の児童の様子を思い浮かべて気づいたこと等も書いていただくのもよい。
- ・アンケートにすべて目を通してもらうのも大変。成果は○、課題は●というように印をつけるだけでも見やすくなる。また、児童アンケートの経年変化には分析が載っているので、参考にさせていただくと書ける内容が広がる。
- ・昨年度の運営協議会で「教育の専門用語が多くて分かりにくい」という意見が出されたことで、今年には用語説明が添付されている。学校は、委員から出された意見を受け止め、改善していくことができる。評価を書いていただくことは大変だと思うが、これからの学校のために、ぜひ書く時間を作っていただきたい。